



子育て支援センター

☎ 985-4151

主に就園していない子どもとその親を対象に活動していますが、内容によって小学生、就園児、妊婦なども参加できます。

12月活動案内	行事	親子ふれあいサークル		フレンドサークル	育児わくわくサークル	保育交流サークル
	内容	親子あそびの体験(リズムあそび・製作あそび・お話など)		親子の友だちづくりや自主活動の場	育児講座	保育施設でのあそび体験
	コース名	ほほえみクラブ	ひまわりクラブ	フレンドクラブ	ママでスクール	まさきっこクラブ
名 称	東公民館	くま(2歳以上) 1日(金)	ママパパキッズ編集会 4日(月)	リフレッシュ体操 5日(火)	「個性に応じた 親子のかかわり方」 21日(木)10:00~11:30 講師：子育て支援センター 担当者 場所：松前町総合福祉セン ター2階和室会議室 要予約(20日(水)まで) ※ 託児あり。要予約	松前保育所 19日(火)
	6日(水)	ひよこ(0歳) 8日(金)	なかよし誕生日会♥ 7日(木)	ブックフレンドパーク 11日(月)		
日・曜	西公民館	ファミリーランド 9日(土)	年齢別0歳 18日(月)	バルーン(妊婦対象) 20日(水)		
	12日(火)	のびのび(クリスマス会) 15日(金)	あそび工房 25日(月)			
場 所	北公民館	うさぎ(1歳) 22日(金)				
	13日(水)	スクールキッズ 26日(火)				
場 所	各公民館	松前町総合福祉センター				各保育所・幼稚園
動 案 内	<p>サークル活動に関すること</p> <p>◎主に、就園していない子どもとその親を対象に上の日程に従って活動を行います。</p> <p>○登録(随時受け付けています)をしてから各コースに参加できます。(内容によって、小学生、就園児、妊婦など参加可能)</p> <p>○時間の記入がない場合は、すべて10:00~11:30に実施します。内容は10:00~11:00(サークル活動)と11:00~11:30(自由あそび)とに分かれています。</p> <p>○予約や年齢・対象が記入されていない場合は、予約なしでどなたでも参加できます。</p> <p>○♥マークのあるところは、希望に応じて、お茶を飲むことができます。料金が必要。</p> <p>※ 詳しくは、子育て支援センター発行の毎月の活動チラシやHP、下記までお問い合わせください。 http://www.town.masaki.ehime.jp/koce/ 予約・問い合わせ ☎985-4151</p> <p>子育て相談</p> <p>○子育て相談「ちょっと聞いてコール」 毎週月~金曜日 9時~17時(左記時間外も可能) 電話、面談、家庭訪問など希望に応じて実施します。</p> <p>○ふらっと子育て応援隊 随時予約を受けて実施します。 サークルの運営や、親子遊びのアドバイスなど担当者が出かけていってお手伝いします。</p> <p>まさきファミリー・サポート・センター</p> <p>○育児の手助けを有料で行う会員登録制の組織です。 子育て相談/まさきファミリー・サポート・センター共通 ☎960-3269</p>					

ふるさと歴史散歩⑱

義農作兵衛の事跡を訪ねる

(松前史談会レポート)

義農作兵衛は、享保の大飢饉で打ちのめされた松前の人々の精神的な支えであり、誇りでした。翁の生き方を学び、長年にわたり大勢の方たちが翁に対して持ち続けた賞賛と感動を、私たちも感じ取りたい。これが今回のテーマです。

まず、「享保の義農作兵衛」(相原熊太郎著)に寄せた、大正3年、時の内閣総理大臣大隈重信の簡潔、明快な序を紹介します。

「義農作兵衛麦種を枕にして餓死す、曰く、穀種を食うは天理に背く、死すとも雖も忍ぶべからずと、凜呼たる義氣百世能く人を感奮せしむるに足れり。今天れ生を争そふて義を忘れ、眼前を俸して将来を慮はざるもの往々にして然り、相原文学士義農伝を叙して天下に示す、その意の存する所知る可し、以って序となす。」

① 金蓮寺に集合。ご住職は午前中に2件の法要があるにも拘わらず、特別のご好意で、講話と寺の由緒、義農に関わる話の時間をとってくださいました。作兵衛翁の過去帳も全員が拝観できるように準備していただいていた。翁のご子孫にあたる方にもお会いすることができ、何かとお話も伺い、貴重な時間でした。

翁は、享保17年(1732)、45歳のとき餓死するので、松山藩庁は、墓印を建て相応の追善をするように命じています。

「義農道葉信士」(後に居士号を贈られる)の墓石は、45年後に藩主久松定静公の命により建てられた「義農之墓」の南側、松の下にあります。現在の義農公園の地です。なお、碑文は、丹波成美(注1)の選。家族は大智院に葬られています。

② 明治14年(1881)、義農神社(神号は瑞穂建功命)が、はじめて筒井村字仕出しの旧国道南側に勧請されましたが、同17年の海嘯(注2)により破壊され、そのままになっていたのを、同40年になって筒井村の村社八幡神社に合祀しました。このあたりは、加藤嘉明の城下町であったころは、「筒井の宿」として栄えた土地柄です。今も、その雰囲気があるかに思えます。一同は思い思いに語り合いながら、本降りになった雨の中を、急ぐでもなく次のポイントへ向かって歩きました。ヘッドカバー付きのカッパ姿、相合傘の方、傘もなくずぶぬれの方などさまざまでした。



▲義農作兵衛の過去帳とご遺族から預けられた資料がある(金蓮寺)



▲義農神社が合祀されていた筒井の氏神さま(八幡神社)

(注1) 丹波成美(たんばしげよし)…松山藩儒者・藩校教授
(注2) 海嘯(かいしょう)…海底地震による津波

問い合わせ
松前史談会(鷺野) ☎984-5439